

空気神社から新年おめでとう（ふたば保育園の園児たち）

賀正

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

1

1991
JAN.
月号
NO.410

新春座談会



朝日中3年
武田 一美さん(西町)



朝日中3年
阿部 勝則さん(西町)



朝日中3年
鈴木 秀幸さん(助ノ巻)

今後十年間の町づくりの指針となる、基本構想、基本計画づくりが昨年からすすめられ、今年できあがります。今回は、二十一世紀にはりっぱな若者となつている朝日中の三年生のみなさんにお集りいただき、小林町長とこれからの中づくりを話し合つていただきました。

しやすい自然観に ぼくたちも利用

●司会

あけましておめでとうございます。いよいよ平成三年がスタートしたわけですが、今

日は朝日中学校のヤングマンの皆さんにおいでいただき、町長さんと一緒に語り合つていただきたいと思います。阿部君からどうぞ。

●阿部(高) 白倉に朝日自然観がつくられ、町に活気が出てきて僕達もうれしく感じていますが、自然観まで道路があまり良くないため不便だという声があります。これからどう解決して行くつもりですか。

●町長

道路については自然観開村前から問題視されていたのですが、大型バスがすれちがうことができるよう工事を進めているところです。現在、立木と

白倉の間二カ所で大がかりな工事をしています。平成三年度中には全線開通したいと考えています。

●鈴木

今は定期バス(町民バス)が自然観のホテルのところまでいっていないので、夏など僕達だけで行こうとすると大変不便を感じます。

●町長

たいていのお客様は自家用車でお出でになつて、ほとんど定期バスは利用してないのが現状です。現在、バスを利用して自然観へ行く場合、前もつて連絡してもらいホテルから白倉の終点まで迎えに来ているんですが、バスの利用者がもつと増えればホテルまで延長するとも考えています。

●阿部(勝)

自然観のキャッチフレーズに「星ふる里」を掲げていますね。全国でも六番目に星がきれいに見えるということですから、天体望遠鏡を設置して星の観察会などのイベントを

ぼくたちは、こんな町に住みたじ



2年目に入った朝日自然観、さらに充実した姿で飛躍を期したい

たくさんやればよいと思います。
●町長 同感だね。星空観察会は今年で二回目ですが、それ以外にも星にちなんだイベントをいろいろ計画する考えです。

●佐久間 自然観は町のピーアールや町外の人集めには役立っていると思いますが、私達中学生にとつてはあまり利用できない施設です。

釣りのできる池や、きのこ園、山菜園、木の遊具などもまもなく整備します。それに、ブナ林を巡る散策コースや野外ゲームを楽しめる施設なども計画中です。

●司会 中学生たちが行きたいても行けない自然観という声のようですが、もつと利用しやすい交通機関や施設の整備が望まれるところですね。

●町長 私からのお願いですが、自然観は一〇〇ヘクタールの面積があり、そこにはたくさんの昆虫や小動物、植物などが生息しています。そういうものを利用し、共に学んだり、楽しむ遊

びを是非工夫してほしいですね。施設がないと遊べないと、そこではちょっと淋しいような気がします。

●阿部(高) 町にはいくつかの工場がありますが、若者が望む情報処理の会社とか先端産業の工場など、魅力ある職場があれば若者も定住するのではないで

しょうか。

●町長 現代は若者が望む働く場所といつても、ひとりひとりが違います。そして、その要望に全部応えようとしてもとても

朝日町長 小林 富蔵



朝日中3年
佐久間知子さん(栗木沢)



朝日中3年
阿部 高典くん(夏草)



司会
水沼和子広報委員(大谷7)



快適生活で 若者定住

びを是非工夫してほしいですね。施設がないと遊べないと、そこではちょっと淋しいような気がします。

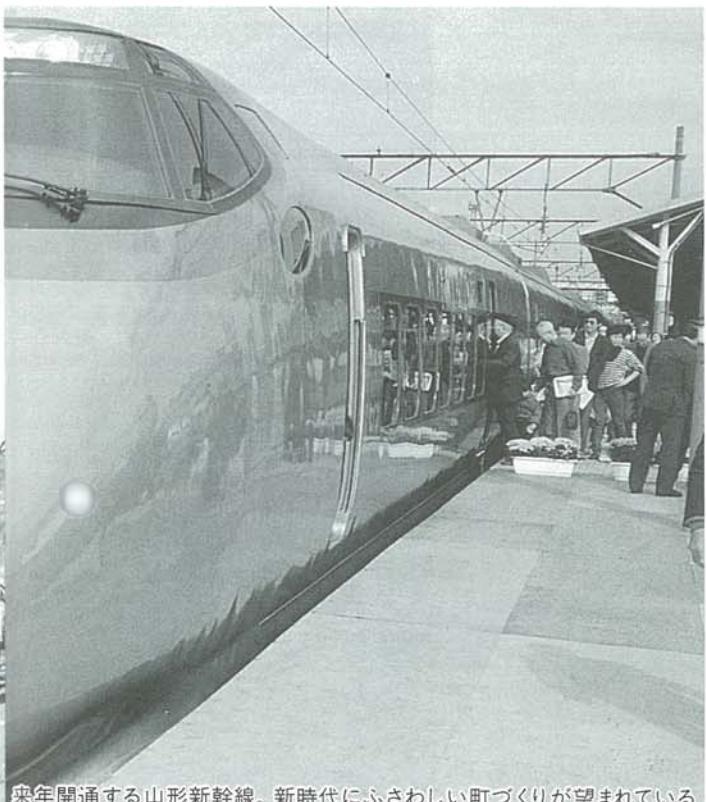


僕たちの声を新しい町づくりにー語りあう出席者のみなさん

無理なことです。町内にも優秀な企業はあります、町内だけに目を向けるのではなく、交通網の発達にともない通勤圏がどんどん広がっているので、山形天童あたりまで考えてほしいですね。東京では通勤時間に二時間もかけていることを考えれば住む場所と働く場所が一緒という「かたつむり的発想」ではなく、住む場所は朝日町で、働くのは他市町ということを考えられるのではないかでしょうか。

みんなで支える
ふれあいの里を

●司会 朝日町は高齢化比率が県内で一番ですが、これから



来年開通する山形新幹線。新時代にふさわしい町づくりが望まれている

高齢者対策についてみなさんはどう考えますか。

るようにしてあげなければなら
ないと思います。

サービスがうけられるシステムや、
思いやりのある福祉のネットワー
ークにも力を入れていきます。

自然と共に発展する

●司会 次に『地球にやさしい町づくり宣言』を全国で初めて行つたわけですが、環境問題についてはどうでしようか。

理浄化槽の設置を行っています
が、早く全世帯が設置すればいい
いと思います。

●町長 町も議会も三年前からせせらぎや清流を守るため研究をしてきました。山形市や寒河

江市では公共下水道を整備中ですが、この方法だと排水が地下を流れるようになり、せきや小一のくは雨が降つてこまゝの流

川の水は雨が降ったときしか流れなくなります。また、膨大な資金が必要ですし、完成まで長期間かかります。そこで町では

小川も復元でき、整備に時間も比較的かかるない合併処理浄化槽方式を取り入れたわけです。

●鈴木 今から店や工場などが建設なると思いますが、自然を破壊しないで発展するようにし

●町長 その通りだね。このこ
てほしいですね。



たくましい力と若さあふれる21世紀の主役たち

とは町だけの問題でなく、全世界の課題だと考えていました。二十世紀後半、特にこの三十年間の科学技術の進歩は目覚ましいものがありました。その結果地殻の資源は枯渇寸前で、しかも公害があふれているような状況をつくりだしました。

そこで町では自然と共生する
ことの大切さを認識し、九月の
定例町議会で「地球にやさしい
町」宣言を行いました。

また、エコ・ミュージアム構想も生まれました。エコとは生態系のこと、ミュージアムは博物館ということで、私達が生活したり、生きている環境そのものを博物館としてとらえて整備し、町づくりに生かしていくこういう考え方です。町全体が博物館になるという町づくりをめざしたいと考えています。

モノレールの夢ふくらむ

“紅はなの丘”構想

● 司会 それでは最後に、自分はこんな町に住んでみたいと思っていることをお話し下さい。

● 阿部(高) ぼくはもつと交通の便の良い町に住みたいと思います。

●鈴木 ぼくも同じく交通の便



卷之三

として開発しようという構想が検討されています。計画内容はまだこれからですが、自然と文化の一大基地としてこのエリアを整備しようとするもので、その中に左沢と荒砥をモノレールで結び、最上川の四季を探訪できるルートをつくろうという動きがあります。

左荒線という夢を掲げて粘り強い運動を続けてきましたが、今後も大いに実現に向けてがんばりたいと思います。

また、交通網の整備について
は、山形朝日線も来年は全線開
通しますし、国道の整備も着々
と進んでいます。

施設については、現在具体化に向けて盛んに研究を行つてゐるところです。詳しくは町の第三

● 定中ですので、その中でいろいろ検討したいと思います。
司会 小林町長さんは忙しいところありますが、どうぞよろしくお願ひ

た。今年の干支にちなんで、温かい心でこれから町づくりにがんばって下さい。私達も自分達の主ひ町を少しでも注み

やすい町にするために頑張りましょう。中学生のみなさんありがとうございました。

自然と共に発展する町づくりを

平成3年の元旦を迎え謹んでご挨拶を申し上げます。

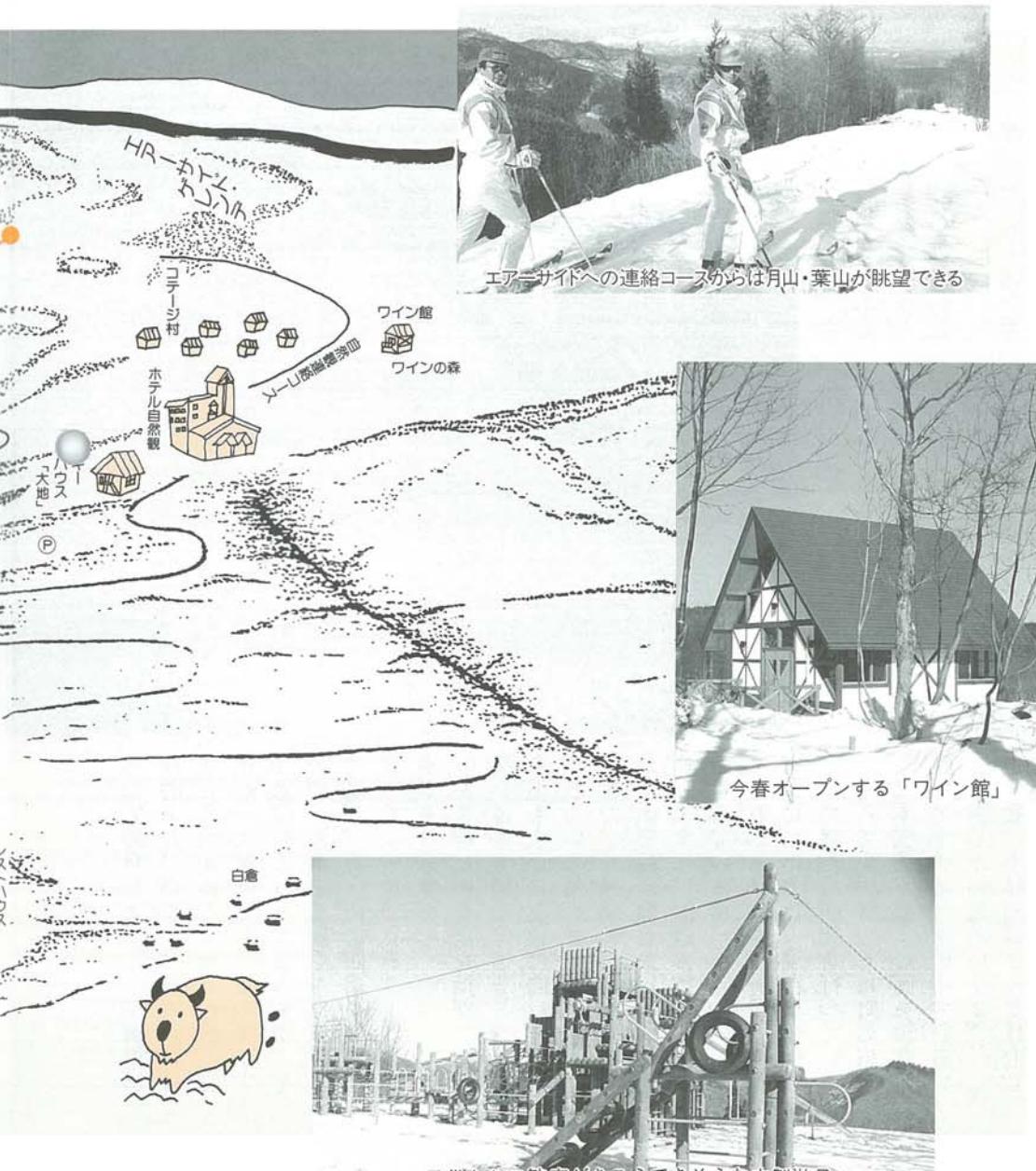
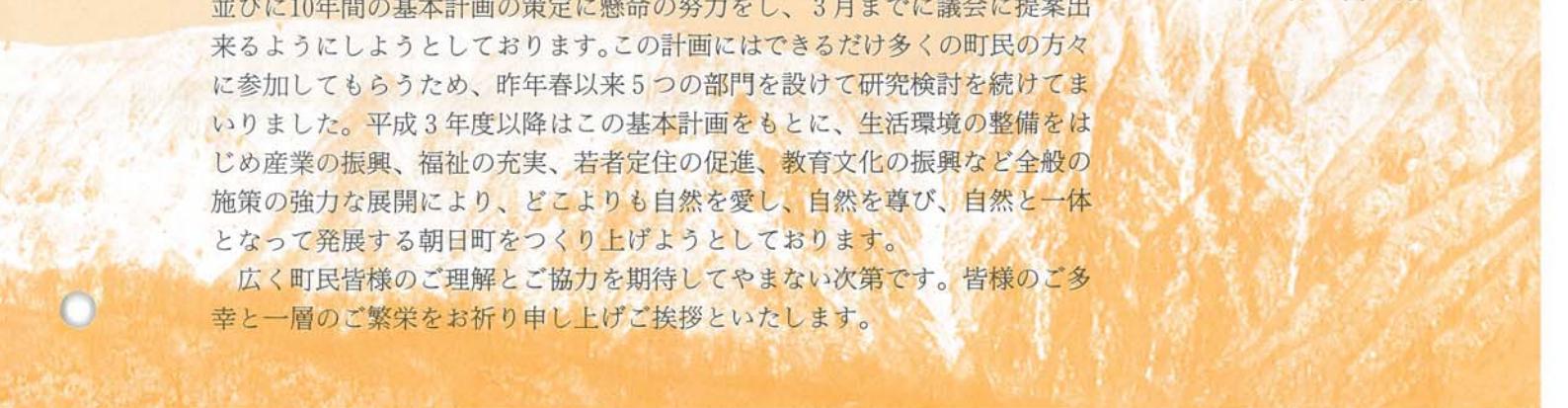
町民の皆さん明けましておめでとうございます。今年からちょうど10年目で21世紀になります。世はあげて21世紀をめざして目標を掲げて努力している事は皆様ご承知のとおりです。朝日町においても第三次総合開発基本構想並びに10年間の基本計画の策定に懸命の努力をし、3月までに議会に提案出来るようにしようとしております。この計画にはできるだけ多くの町民の方々に参加してもらうため、昨年春以来5つの部門を設けて研究検討を続けてまいりました。平成3年度以降はこの基本計画をもとに、生活環境の整備をはじめ産業の振興、福祉の充実、若者定住の促進、教育文化の振興など全般の施策の強力な展開により、どこよりも自然を愛し、自然を尊び、自然と一緒にあって発展する朝日町をつくり上げようとしております。

広く町民皆様のご理解とご協力を期待してやまない次第です。皆様のご多幸と一層のご繁栄をお祈り申し上げご挨拶といたします。



朝日町長

小林富藏



Asahi Natural View

でつかくなつて
この冬オープン

この冬朝日自然観スキー場はエアートップ、エアーサイドの二つのゲレンデやペアリフトの増設など、ますます充実してオープン。みなさまのおいでをお待ちしております。



朝日町議会議長
松田庄治

町民のみなさんと共に全力を

新年あけましておめでとうございます。

全国から郷土の栄誉を担って集まる「べにばな国体」開催まで残すところ一年となりました。全国から集まる選手のみなさんに“自然に恵まれた人間性豊かないきがいのある町”朝日町をピーアールする絶好の機会と思われます。

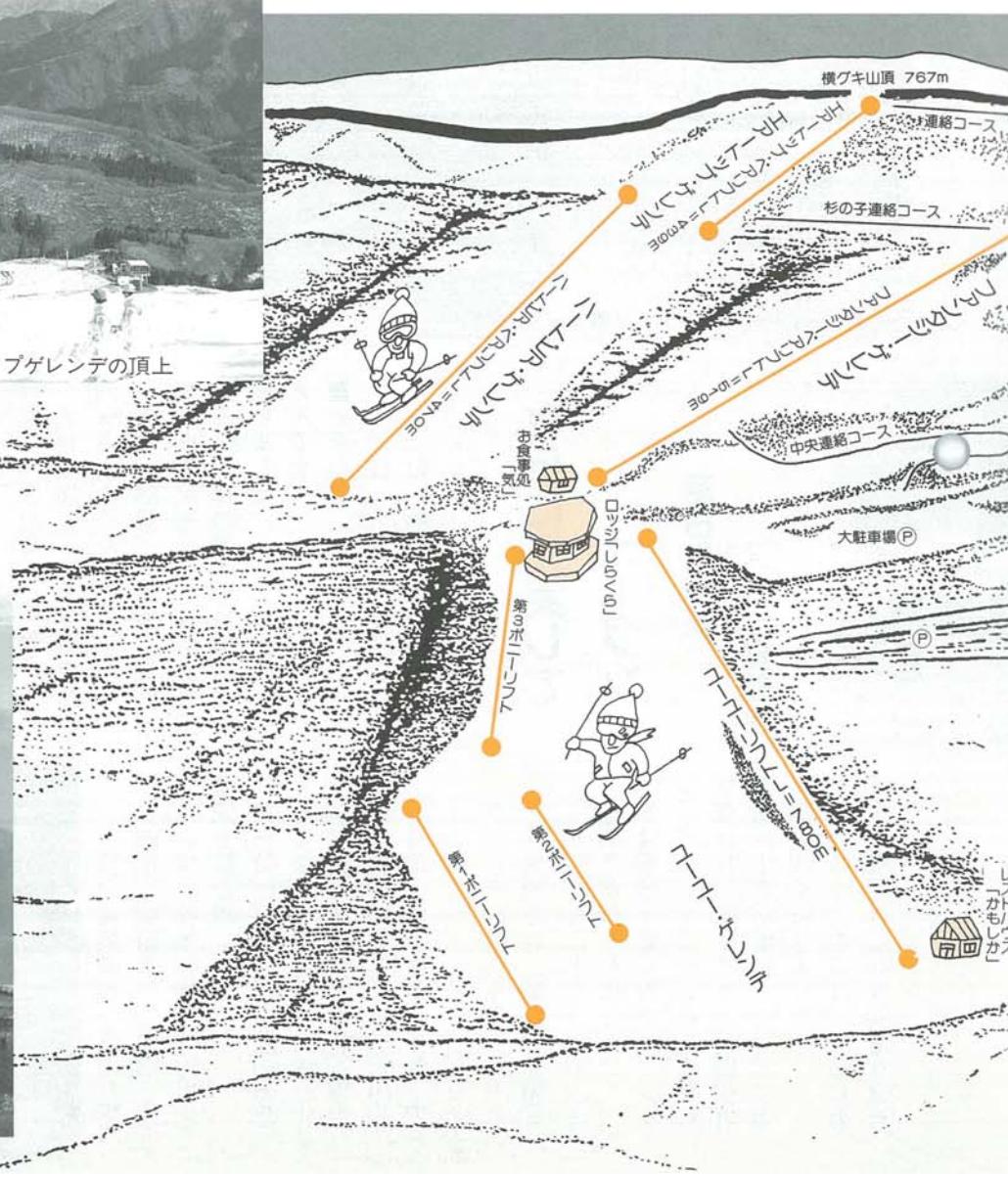
昨年は、開村から1年を経過した「朝日自然観」の経営も順調であり、町民のみなさんと共に喜びたいと思います。しかし一方、農業面においては残念ながら天候不順による米の品質低下や降雹によるりんごの減収などがあり、農家のみなさんにお見舞申し上げます。

世界の情勢に目を転じますと、イラクのクウェート進攻による中東湾岸危機を見る時、苦い戦争の過去を持つ私たちは平和的解決を願わざにはおれません。新年を迎え、町の将来の発展は人づくりにあることを十分認識し、諸事業の推進に町民皆様と共に全力を尽して参りたいと存じます。

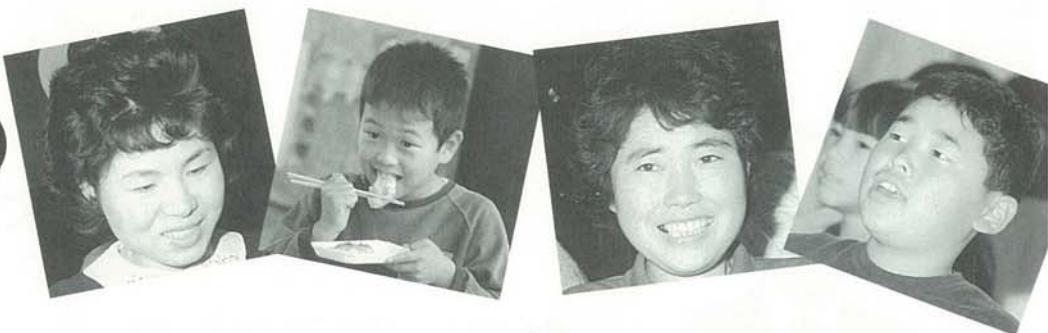
皆様のご多幸をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。



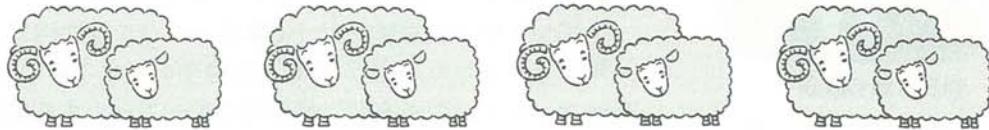
自然観全体を一望できるエアートップゲレンデの頂上



出羽丘陵、奥羽山脈とつづく山並



■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67-2111（内222）



暖冬の影響で例年よりやや少ない五十羽前後の白鳥が飛来している上郷ダムで、十二月二十四日白鳥観察会が行われました。この観察会は、子供たちに野生の白鳥に親しんでもらい、町の自然のすばらしさを知つてもらおうと毎年行つているもの。十五名の参加者たちはこぬかやパンくずなどを与え白鳥の生態を観察しました。

また観察会に先立ち、中央公民館では、お母さんたちと一諸に牛乳パックから再生するオリジナルハガキづくりに挑戦。落ち葉や押し花をすきこんだかわいいハガキが一パックから四～五枚でき上がりました。

上郷ダムで白鳥観察会

冬の使者と仲よしに



さらに充実して
オープン
スキー場開き
朝日自然観

ゲレンデの名称や第四ペアリフトが新設された朝日自然観スキー場で、十二月二十二日スキー場開きが行われました。

お食事処「氣」前のファンタジーゲレンデで行われた安全祈願祭には、町やスキー場関係者ら約六十名が出席、シーズン中の無事故を祈りました。

あいにくこの日は、雪なしのスキー場開きとなり初滑りはお

十二月九日、第二十五回町珠算競技大会が町内の小学生九十一名が参加し、町中央公民館で開催されました。

乗算、除算、見取算、見取暗算の四種目を総合で争う総合部門と読上算の部門で日頃の腕を競いました。入賞者は次のみなさんです。

■総合の部

第一位 佐藤誠子(大谷小)
二位 阿部 恵(大暮山分校)

三位 長岡進也(大暮山分校)
四位 柴田幸子(宮宿小)
五位 鈴木和幸(西五百川小)

■読上算の部

第一位 阿部 恵(大暮山分校)
二位 大井寿晴(立木小)
三位 鈴木和幸(西五百川小)
四位 鈴木美恵子(西五百川小)
五位 白田瞳美(大谷小)

**パチ、パチ
腕競った
珠算大会**

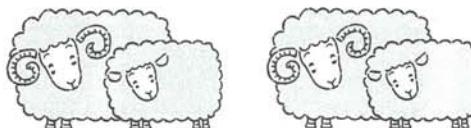


隣の リンゴ家族

堀ひのき

(25)

FUJIOP



町民の

このひろばはみなさん
のページです。話題やご
意見、作品など、ご自由
にお寄せ下さい。

正月祝うしめ飾りづくり

門松づくりにも挑戦した少年教室

おじいちゃんと子供達による、
恒例の正月用しめ飾りつくりが
十二月十六日、北部公民館で樂
しく行われました。

当時は子供達二〇名がしめ飾
り用のワラを持参。白田要助さ
ん（七十三歳）ら六人の指導者
からワラのない方や飾りの付け
方を習いました。

また、今年は新たにミニ門松
づくりにも挑戦。出来上がったた
しめ飾りと門松は正月には玄関
や茶の間に飾られるでしょう。



できあがったしめ飾りを持ってハイポーズ



あづけ。集まつた出席者たちか
らは、一日も早い降雪を期待す
る声が聞かれました。
また、当日はゲレンデ愛称入
賞者の表彰式が、スキーハウス
「大地」で行われ、コテージの
無料宿泊券などたくさんの賞品
がそれぞれに贈られました。

ゲームで楽しむ英会話

生の英会話力を身につけようと十二月十四日、北部公民館で
アイルランド人の講師を招待して英会話教室が行われました。

この教室は、十月五日から毎週金曜日の夜十二回シリーズ
で、志藤一枝さん（川通）の指導のもと海外旅行用英会話を中
心に学習しているもの。

この日は、西村山教育事務所で英語指導助手として、管内の
高校や中学校で指導しているミリアム・グリーンさんを招待
し、フリートークの形で進められました。受講生十一名のほと
んどが、外国人と話すのは初めてということでやや緊張気味で
したが、身振り手振りを交えての積極的なコミュニケーション
で、次第に和やかな雰囲気に。

受講生のひとり伊東美香さんは「今日のため辞書をひいて勉
強してきた。話が通じて感激しました。これからもっと話せ
るように頑張ります」と、うれしそうに語ってくれました。



アイルランド流かるたかな(?)



松田 ゆくくん
(栄町・父 勝美さん・半月)

ボクは昨年の12月18日に生まれたばかりで、まだ名前もないけど、みなさんヨロチクネ。



佐竹 秀俊さん
(松程・32歳)

みなさん今年の冬は暖冬だからといって油断しないで、安全運転を心がけて下さいね。



伊藤 久美子さん
(能中・三中分校2年)

明けましておめでとうございます。今年から本校にかようようになります。本校のみなさんよろしくおねがいします。



白田 忠太郎さん
(大暮山・98歳)

いつの間にか町一番の長寿だつてさ。長生きの秘けつ?それは毎日畑へ草刈りに行くことだな。



らおめでとう



阿部 浩明くん
(今平・5歳)

明けましておめでとうございます。正月はお年玉がたくさんもらえるので楽しみです。



古川 みちよさん
(立木・22歳)

明けましておめでとうございます。ドライブが好きな私、今年はどこへ遠出しようかな~。



長岡 英子さん
(西町・33歳)

育児がひと段落したので勤め始めました。キラッと輝くミセスをめざそう。



佐藤 亜妃ちゃん
(大舟木・5歳)

新年おめでとうございます。わたしは今年、年長組になるので、妹のめんどうをみてあげようと思います。



鈴木 ソニアさん
(大隅・29歳)

新年おめでとうございます。朝日町の生活にもすっかり慣れ、二人の子供の子育て奮戦中。今年もよろしくおねがいします。



阿部 ツヤ子さん
(白倉・59歳)

小学生や中学生のみなさん今年も朝日自然観スキ一場「レストハウスカモシカ」でお待ちしています。



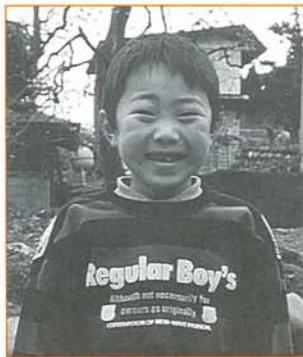
志藤 昌芳 さん
(八ツ沼・49歳)

山形朝日線工事を10年。
平成4年の「べにばな国体」まで完成めざし今年
もがんばるぞ！



大高 里美 さん
(太郎一・24歳)

明るく楽しく、何ごとも積極的にトライ(挑戦)。
今年はいいことがいっぱいありますように！



志藤 拓矢 くん
(川通・川通分校1年)

ぼくは今年も武田先生とふたりきりだけど、魚つりや勉強をしたり本校のみんなにまけないようがんばります。



阿部 美智子 さん
(大暮山・23歳)

どんなに忙しくても、やさしい気持ちを忘れずに患者さんに接したいですね。



佐藤 由貴 ちゃん
(新宿・4歳)

私は今年保育園に入ります。今から、みんなと歌をうたつたりするのを楽しみにしています。



浅岡 すみえ さん
(西町・17歳)

今年は高校を卒業し、社会人一年生になります。
みなさん応援して下さい。



まちかどか

まちかどか



小野 幸浩 さん
(大谷三・30歳)

今年はそろそろ身をかためようかなー。
花嫁大募集中！



清野 幸 ちゃん
(古檍・4歳)

あめでとうございます。
わたしは今年、さゆり保育園の年中組さんになるせいのさちです。ともだちといっしょに遊ぶのが大好きです。



志藤 小百合 さん
(栗木沢・20歳)

おしゃべりが大好きな私。
今年は、笑顔で成人式をむかえます。



今井 正仁 さん
(新宿・42歳)

今年も安全運転で町民のみなさんの足となります。
じいちゃん、ばあちゃんお待ちしております。

TUYの朝日中継局が完成

館山に工事がすすめられていたTUY（テレビピューハン）の朝日中継放送局がこのほど完成、12月15日から放送が開始されました。この中継局は総工費2,600万円でTUYが主体となって建設したもの。町では過疎対策の一環として50%を補助しています。館山のテレビ塔は、NHK、YBC、YTSに次いで4番目。町内ほぼ全域で鮮明な画像が受信できる状態になりました。



開局記念特別番組を放送

TUY朝日中継放送局の開局を記念して、朝日町の特別番組が放映されます。本格的な冬到来で、ゲレンデ整備やホテルでの新メニューづくりにとりくむ朝日自然観や無袋ふじの収穫、ワイン醸造、紅葉の大沼浮島など、町の姿が30分にわたって放送されます。

- 放送期日 1月12日（土）
16時55分～17時25分
- 番組名（予定） 「自然観'91冬」

「四季のAsahi自然観」写真コンテスト作品募集

- 題材 朝日自然観の四季折々の風景や自然現象、イベント、スポーツ等、自然観をテーマとした作品を募集します。
- サイズ カラープリントはサービスキャビネ判以上、スライドは35mm以上6×9cmまで。
- 賞 ・自然観賞1点 賞金10万円 ・特選4点 賞金3万円
・入選10点 賞金1万円 他に佳作、努力賞があります。
- 応募締切 冬・春の部 平成3年5月31日
夏・秋の部 平成3年10月31日
- 応募及び問合せ先 朝日自然観「四季の写真コンテスト」係 ☎0237(67)7111



ふるさと人國記
9

佐竹正詮

—郷土の誇る衆議院議員—



ふるさとの山の靈氣を全身に受け育った正詮は、やがて、大志を胸に大きな舞台へと羽ばたいて行った。その雄途を、ふるさとの川は波頭を立てて見送った。彼は決してふるさとの山河の恩恵を忘れず、そのふるさとのためにつくす信念を絶やすことはなかった。

正詮は安政元年（一八五四）十一月八日、夏草佐竹文右門の次男として生れた。現在も国の重要文化財である佐竹家が生家である。

彼の一生は、ひたすら人の幸せのためにつくした累積であった。水口学校への貢献はもちろん、三中学校新築に際しても、当時宮宿村外二十二ヶ村受持の学務委員でもあった彼は、その基礎がための祝辞の中に「此ニ校舎ヲ建築シ、子弟ヲシテ倍々文明ノ域ニ進マシメンコトヲ謀リ……」と述べ、俊才良士を養成しようとした意気込みが感じられる。

明治二十九年三月、第七回帝国議会で、その勵績の功に依り銀杯壱組を賜わっている。政界を去つても、支那語を学び大陸に進出しようとした彼の思いは何であつたろう。明治三十八年十月十三日没。行年五十二歳。

文・杉ひさし